

令和3年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	430	高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみをつくる
施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する
施策の目標	高齢期を迎えた区民が、地域活動や趣味、特技を活かしたボランティア活動等を通じて社会参加し、生きがいをもち、充実感のあるセカンドライフを過ごしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「生きがいがある」65歳以上の区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	72.0%				73.0%					75.0%
実績	71.1%				70.4%					
指標名	シルバー人材センター就業延べ日人員及び実就労者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	延べ日人員：182,883人 実就労者：1,370人	延べ日人員：183,423人 実就労者：1,370人	延べ日人員：183,963人 実就労者：1,380人	延べ日人員：184,503人 実就労者：1,390人	延べ日人員：185,000人 実就労者：1,400人	延べ日人員：187,331人 実就労者：1,190人	延べ日人員：188,315人 実就労者：1,197人	延べ日人員：189,299人 実就労者：1,204人	延べ日人員：170,284人 実就労者：1,211人	延べ日人員：171,268人 実就労者：1,218人
実績	延べ日人員：182,883人 実就労者：1,370人	延べ日人員：165,479人 実就労者：1,272人	延べ日人員：168,169人 実就労者：1,163人	延べ日人員：163,624人 実就労者：1,156人	延べ日人員：144,802人 実就労者：1,078人					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
令和元年度墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、「生きがい」について「ある」と回答した高齢者が70.4%いる一方で、「思いつかない」と回答した高齢者が25.6%いた。このことから生きがいを感じられない高齢者が一定数存在していることがわかる。 健康寿命を延伸させるために、就業や社会的活動、多世代交流など多様な形で高齢期の社会生活を支援する必要がある。	H30	394,575
	R1	391,424
	R2	379,478

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	多様な事業展開が高齢者の社会参加に対する選択肢を拡げ、高齢者の生きがいにつながっていることから、施策目標が一定程度達成されている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響から、老人クラブ活動回数など、一時的に目標を大きく下回る施策が散見されたが、その他事業は一定の成果を上げている。全世代型社会保障実施の観点から、一定の事業見直し・改善を検討する必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
比較的年齢の若い元気高齢者を社会参加へ結び付けていけるよう、場の提供や地域課題とつなげていく仕組みづくりをしていく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	シルバー人材センター運営 助成	100,353	1,764	102,117	185,000	現状維持
					148,802	令和2年度
2	老人クラブ運営助成事業	48,031	4,411	52,442	54,100	現状維持
					25,877	令和2年度
3	介護支援ボランティア・ポイ ント制度	436	1,410	1,846	209	改善・見直しのうえ継続
					144	令和2年度
4	セカンドステージ支援事業	2,386	3,529	5,915	90	現状維持
					79.1	令和2年度
5	にこにこ入浴デー事業費	73,118	3,529	76,647	294,000	改善・見直しのうえ継続
					195,454	令和2年度
6	元気高齢者施設「いきいき プラザ」管理運営費	47,603	1,764	49,367	70,000	現状維持
					23,034	令和2年度
7	高齢者福祉センター運営 経費	78,691	3,529	82,220	103,000	現状維持
					26,067	令和2年度
8	ふれあい給食事業助成	13	882	895	3,779	現状維持
					5	令和2年度
9	長寿者に対する祝金の贈 呈事業費	26,693	3,529	30,222	3,482	改善・見直しのうえ継続
					3,823	令和2年度
10	すこやか長寿夫婦表彰経 費	634	2,647	3,281	130	改善・見直しのうえ継続
					182	令和2年度
11	長寿マッサージ事業費	1,515	1,764	3,279	1,536	現状維持
					443	令和2年度
12	姉妹区提携交流ゲートボー ル大会	5	1,764	1,769	110	改善・見直しのうえ継続
					0	令和2年度

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	シルバー人材センター運営助成		1
目的	公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。 なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課支援係 5608-6168
対象者	60歳以上の区民(シルバー人材センター会員)		
根拠法令 関連計画	・高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 ・公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱 ・墨田区福祉総合計画・第8期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事業内容	以下のとおり、補助金の交付を行う。 1 補助対象事業 (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、調査・相談等 (2) 向島、緑両作業所の運営 2 補助対象経費 補助対象事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部		
経過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	[昭和56年4月] 補助金交付開始 [平成29年4月] 労働者派遣事業開始		
議会質問 の状況	[平成30年1定] センターへの支援について(就労対策と生きがい対策) [平成30年決算特別委員会] センターの運営助成費について [平成31年1定] アクティブシニアの方々への施策について [平成31年1定] シルバー人材センターの活用について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 23区すべてが補助を実施している		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		101,923	108,047	103,214	102,924	100,353	101,924
A.決算額(令和3年度は見込み)		101,923	108,047	98,461	98,127	100,353	101,924
財源	国						
	都	12,495	13,433	13,484	13,891	12,660	13,367
	その他						
一般財源		89,428	94,614	84,977	84,236	86,902	88,557
執行率(%)		100.0%	100.0%	95.4%	95.3%	100.0%	100.0%
B.人コスト				1,969	1,311	1,764	
総事業決算額(A+B)		101,923	108,047	100,430	99,438	102,117	
主な事業費用の説明		シルバー人材補助金等					
予算書P(令和3年度)	P143 2	執行実績報告書P(令和2年度)			P79 2		

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,740	令和7年度	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	1,830	1,700	1,710	1,720	1,730	1,740	
	実績	1,532						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会員の就業拡大のためには、まずは会員数を増やす必要があり、会員数が減少傾向にある現状から、増加に転じることを目標にする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
171,268		令和7年度	目標	182,883	183,423	183,963	184,503	
			実績	184,477	165,479	168,169	163,624	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	185,000	167,331	168,315	169,299	170,284	171,268		
実績	148,802							
指標の選定理由及び目標値の理由								
会員の就業拡大を表す数値であるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。新型コロナウイルス感染症の影響等により会員や就業機会が少なくなっている状況があるが、今後も、シルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく

課題・問題点
新規会員の確保や会員の収入確保が課題である。昨今、労働力人口の減少により、各種求人が増えている。高齢者の就業先として、現在はシルバー人材センターだけが高齢者の就業の受け皿ではなくなってきている。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、会員を含め感染防止のために就労を控える高齢者がいることや、民間の請負事業が減少したことなどにより、新規会員の確保や収入確保が難しくなっている。

令和3年度 補助金評価シート

補助金名称	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金	主管課・係（担当）	
根拠法令	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱	高齢者福祉課支援係	
補助概要	公益社団法人墨田区シルバー人材センターの運営費を一部補助する。	5608-6168	
目的	公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。 なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。		
対象	公益社団法人墨田区シルバー人材センター		
基準	区独自基準		
補助条件	以下のとおり、補助金の交付を行う。 1 補助対象事業 （1）高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、調査・相談等 （2）向島、緑両作業所の運営 2 補助対象経費 補助対象事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部		
経過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	[昭和56年4月] 補助金交付開始 [平成29年4月] 労働者派遣事業開始		
議会質問の状況	[平成30年1定] センターへの支援について（就労対策と生きがい対策） [平成30年決算特別委員会] センターの運営助成費について [平成31年1定] アクティブシニアの方々への施策について [平成31年1定] シルバー人材センターの活用について [令和2年7月] シルバー人材センター会員の収入の確保について		
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 23区すべてが補助を実施している		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		101,873	107,997	103,164	102,424	99,562	101,924
決算額（令和3年度は見込み）		101,873	107,997	98,411	98,127	99,562	101,924
財源	国						
	都	12,495	13,433	13,484	13,891	12,660	13,367
	その他						
一般財源		89,378	94,564	84,927	84,236	86,902	88,557
執行率（％）		100.0%	100.0%	95.4%	95.8%	100.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,740	R7	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,700	1,710	1,720	1,730	1,740
		実績	1,532					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会員の就業拡大のためには、まずは会員数を増やす必要があり、会員数が減少傾向にある現状から、増加に転じることを目標にする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		171,288	R7	目標	182,883	183,423	183,963	184,503
				実績	184,477	165,479	168,169	163,624
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		185,000	167,331	168,315	169,299	170,284	171,268	
実績		148,802						
指標の選定理由及び目標値の理由								
会員の就業拡大を表す数値であるため								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		<p>シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。今後も、シルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。</p>						

課題・問題点	
<p>新規会員の確保が課題である。昨今、労働力人口の減少により、各種求人が増えている。高齢者の就業先として、現在はシルバー人材センターだけが高齢者の就業の受け皿ではなくなってきており、新規会員の確保が難しくなっている。</p>	

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	老人クラブ運営助成事業		2
目的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。 また、墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課支援係 03-5608-6168
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ設立後継続して3か月以上活動しているクラブ ・ 墨田区老人クラブ連合会 		
根拠法令 関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区老人クラブ助成要綱 ・ 墨田区老人クラブ連合会助成要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画 		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事業内容	<p>各クラブに対しては、次の活動における諸経費を助成対象としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会奉仕活動：公園・町内・道路等の清掃活動等 ・ 健康をすすめる活動：スポーツの練習等 ・ 生きがいを高める活動：演芸大会等 ・ 特別事業活動：多世代等との交流事業等 <p>また、墨田区老人クラブ連合会に対しては次の事業への経費を助成対象としている。 高齢者福祉大会 会報発行 ゲートボール大会 運営助成 かたりべ事業 高齢者の生きがいと健康づくり事業 健康教室事業</p>		
経過	開始年度	昭和40年度	終了予定
	<p>[昭和40年度] 助成開始（各老人クラブ） [昭和46年度] 助成開始（墨田区老人クラブ連合会） [平成3年度] 老人クラブ助成要綱改正（交付時期2回 1回、助成額各ランク1,000円増） [平成12年度] 老人クラブ助成要綱改正（助成月額10%減額、特別事業費24,000円 21,600円） [平成30年度] 老人クラブ助成要綱改正（特別事業費を廃止し、助成金に上乘せ 助成額各ランク1,800円増）</p>		
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項	<p>（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）</p> <p>各区とも老人クラブ・老人クラブ連合会へ助成金を出しているが、助成額は様々である。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を一部中止した。</p>		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		48,750	48,367	48,362	48,089	48,908	48,406
A.決算額（令和3年度は見込み）		48,466	47,775	48,094	47,817	48,031	48,406
財源	国						
	都	5,344	5,187	5,225	5,144	5,130	5,165
	その他						1
一般財源		43,122	42,588	42,869	42,673	42,901	43,240
執行率（%）		99.4%	98.8%	99.4%	99.4%	98.2%	100.0%
B.人コスト				7,874	4,369	4,411	
総事業決算額（A+B）		48,466	47,775	55,968	52,186	52,442	
主な事業費用の説明		各老人クラブ及び墨田区老人クラブ連合会での対象活動への助成費					
予算書P（令和3年度）	P143	執行実績報告書P（令和2年度）		P79 1			

事業 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		150	R7	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	150	150	150	150	150	150	
	実績	148						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	老人クラブ活動回数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
54,600		R7	目標	53,800	53,800	53,900	54,000	
			実績	53,791	62,507	57,994	49,245	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600		
実績	25,877							
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数の増加は、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	老人クラブでの活動は、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動(高齢者の見守り)等での活躍が期待される。このことから、各クラブに対する助成金の交付を継続して実施する。 墨田区老人クラブ連合会は、各老人クラブの活動を支えている組織であり、各単位老人クラブ同様助成金交付を継続して実施する。

課題・問題点
<p>新型コロナウイルス感染症の感染リスクがある中で、クラブ活動の活性化(高齢者の健康づくりや生きがいづくりの活動をどのように実施していく)が課題である。今後、感染防止の徹底に加え、ICTを活用した非対面・非接触によるコミュニティ形成支援も必要である。</p>

令和3年度 補助金評価シート

補助金名称	老人クラブ助成金	主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区老人クラブ助成要綱	高齢者福祉課支援係
補助概要	老人クラブ活動（社会奉仕活動、友愛活動、健康をすすめる活動、生きがいを高める活動）の経費に対し補助する。	03-5608-6168
目的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。	
対象	区内老人クラブ	
基準	区独自基準	
補助条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「墨田区老人クラブ運営基準」に準拠して運営される老人クラブで、設立後継続して3カ月以上活動を続けているもの ・ 助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要 	
経過	開始年度	昭和40年度
	終了予定	
	<p>[昭和40年度] 助成実施</p> <p>[平成3年度] 老人クラブ助成要綱改正（交付時期2回 1回、助成額各ランク1,000円増）</p> <p>[平成12年度] 老人クラブ助成要綱改正（助成月額10%減額、特別事業費24,000円 21,600円）</p> <p>[平成30年度] 老人クラブ助成要綱改正（特別事業費を廃止し、助成金に上乗せ 助成額各ランク1,800円増）</p>	
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて	
その他特記事項	<p>（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）</p> <p>各区とも老人クラブへ助成金を出しているが、助成額は様々である。</p>	

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		36,825	36,363	36,060	36,578	35,766	35,237
決算額（令和3年度は見込み）		36,593	35,835	35,819	35,221	35,012	17,618
財源	国						
	都	4,370	4,291	4,291	4,233	4,233	4,268
	その他						1
一般財源		32,223	31,544	31,528	30,988	30,779	13,349
執行率（％）		99.4%	98.5%	99.3%	96.3%	97.9%	50.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		150	R7	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	150
		実績	148					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	老人クラブ活動回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		54,600	R7	目標	53,800	53,800	53,900	54,000
				実績	53,791	62,507	57,994	49,245
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600	
実績		25,877						
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数の増加は、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		<p>高齢者の老人クラブへの加入率は23区トップクラスである。老人クラブでの活動は、組織活動であり、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動（高齢者の見守り）等での活躍が期待される。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。</p>						

課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ会員数が減少傾向である。また、会長の後継者がなく、会長のなり手がおらず、クラブを解散してしまう傾向にある。 ・ 新規会員（特に60代の若い世代）の入会が少ない。雇用期間の延長や、価値観の多様化等により、60歳になって老人クラブに入会する方が以前と比較して少ない傾向にある。 	

令和3年度 補助金評価シート

補助金名称	老人クラブ連合会助成金	主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区老人クラブ連合会助成要綱	高齢者福祉課支援係	
補助概要	墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。	03-5608-6168	
目的	連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより老人福祉の増進に資する。		
対象	墨田区老人クラブ連合会		
基準	区独自基準		
補助条件	助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要。		
経過	開始年度	昭和46年度	終了予定
	[昭和46年度] 助成開始		
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 各区とも連合会へ助成金を出しているが、助成額は様々である。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業の一部を中止した。		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		11,882	11,961	12,260	12,599	13,100	13,128
決算額（令和3年度は見込み）		11,864	11,916	12,233	12,554	12,977	6,564
財源	国						
	都	974	896	934	911	897	897
	その他						
一般財源		10,890	11,020	11,299	11,643	12,080	5,667
執行率（％）		99.8%	99.6%	99.8%	99.6%	99.1%	50.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	墨老連関係事業数				単位	事業
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		95	R7	目標	95	95	95	95
				実績	93	93	93	82
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	95	95	95	95	95	95
		実績	15					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区老人クラブ連合会主催の事業数が増加することは、各老人クラブの活動を側面から支援したことに繋がるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	連合会関係事業参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		20,000	R7	目標	22,000	22,000	22,000	20,000
				実績	21,639	20,823	18,842	19,143
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
実績		1,438						
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加者数の増加は、多くの高齢者の生きがいにつながるため。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		墨田区老人クラブ連合会は、軽スポーツ大会、文化的活動、研修会や旅行などの様々な事業を主催し、高齢者の活躍の場の創出、閉じこもり防止に寄与している。墨田区老人クラブ連合会が各老人クラブの活動を支えており、今後も助成金事業を継続して実施する。						

課題・問題点	
<p>新型コロナウイルス感染症の感染リスクがある中で、クラブ活動の活性化（高齢者の健康づくりや生きがいづくりの活動をどのように実施していく）が課題である。今後、感染防止の徹底に加え、ICTを活用した非対面・非接触によるコミュニティ形成支援も必要である。</p>	

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	介護支援ボランティア・ポイント制度		3
目的	高齢者自身の介護予防の推進と地域活動への参加促進を図るとともに、介護保険施設のサービス提供体制を支援する。		主管課・係（担当）
			介護保険課 管理・計画担当 03-5608-6924
対象者	介護サービスを受けていない、65歳以上の墨田区民		
根拠法令 関連計画	介護支援ボランティア・ポイント実施要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 会計年度任用職員1
事業内容	介護保険法に規定する介護予防事業として、高齢者が介護保険施設でボランティア活動を行った場合にポイントを付与する制度。 高齢者自身の介護予防の推進と地域活動への参加促進を図るとともに、介護保険施設のサービス提供を支援している。 1時間あたり1ポイント（1か月20ポイントまで）を付与。1ポイント100円に換算した活動交付金（年度上限額20,000円まで）を交付する。		
経過	開始年度	平成21年度	終了予定
	[平成21年度]事業開始 [平成28年度]要綱改正・・・ポイント上限額を増額。（10,000円から20,000円へ）		
議会質問 の状況	[平成27年3定]公明党から制度の充実を求める質問があった。 [令和2年]決算特別委員会で立憲民主党墨田区議団から資料の提出要求を受けた。		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		2,800	2,765	2,237	1,857	1,769	1,507
A.決算額（令和3年度は見込み）		1,257	1,298	1,280	1,258	436	1,507
財源	国（負担割合25%相当）	/	/	/	/	/	/
	都（負担割合12.5%相当）	/	/	/	/	/	/
	その他（国・都分含む総額）	1,257	1,298	1,280	1,258	436	1,507
一般財源		0	0	0	0	0	0
執行率（%）		44.9%	46.9%	57.2%	67.7%	24.6%	100.0%
B.人コスト		/	/	2,953	2,621	1,410	/
総事業決算額（A+B）		1,257	1,298	4,233	3,879	1,846	/
主な事業費用の説明		報償費：活動交付金 需用費：活動認証ゴム印等 役務費：保険料、郵便料金					
予算書P（令和3年度）	P361	1-4	執行実績報告書P（令和2年度）		P235 4		

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	受入施設数				単 位	施 設
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		65	令和7年度	目 標	44	49	51	53
				実 績	47	49	52	60
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	55	57	59	61	63	65	
	実 績	62						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	高齢者がボランティア活動を行うことができる施設の選択肢が増えることによって、より活発な活動を期待できるようになる。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	登録人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
224		令和7年度	目 標	200	200	203	206	
			実 績	195	196	183	175	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	209	212	215	218	221	224		
実 績	144							
指標の選定理由及び目標値の理由								
本制度に登録する高齢者の人数の推移により、事業の目的の達成の度合いを測ることができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	受入れ施設を増やすことでボランティアの活動の場を確保し、ボランティア数の一層の増加を図る。

課題・問題点
各施設におけるボランティアの定着化が進んだ一方、メンバーが固定化傾向にあるため新規受入れ枠が減少している状況にある。 登録ボランティアが十分に活動できる場を確保するため、受入れ施設を増やす必要がある。

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	セカンドステージ支援事業		4
目的	元気なシニア世代が、地域の中で培ってきた経験や特技を活かしながら生きがいをもって社会参加できる環境づくりを目的とする。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課支援係 03-5608-6168
対象者	おおむね55歳以上の区民		
根拠法令 関連計画	・ 単年度決裁、シニアメールマガジン事業要綱、シニア人材バンク事業運営要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画 第8期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 てーねん・どすこい倶楽部
事業内容	セカンドステージセミナーの開催(年4回)、生きがい講座の開催(年6回)、シニア人材バンク運営、シニア向け情報誌の発行(毎月1回)、シニア向けメールマガジンの配信(毎月2回)。		
経過	開始年度	平成14年度	終了予定
	[平成15年度] ボランティア事業開始(セミナー等) [平成18年度] てーねん・どすこい倶楽部がNPO法人化		
議会質問の状況	[平成27年予算特別委員会] 地域活動の意欲を持ったシニア世代の活用について		
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、セカンドステージセミナー及び生きがい講座の開催を一部中止した。		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		2,914	2,915	2,915	2,915	2,915	2,911
A.決算額(令和3年度は見込み)		2,914	2,895	2,850	2,832	2,386	2,911
財源	国						
	都	1,456	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457
	その他						
一般財源		1,458	1,438	1,393	1,375	929	1,454
執行率(%)		100.0%	99.3%	97.8%	97.2%	81.9%	100.0%
B.人コスト				1,969	3,495	3,529	
総事業決算額(A+B)		2,914	2,895	4,819	6,327	5,915	
主な事業費用の説明		セカンドステージセミナー、生きがい講座他委託費用					
予算書P(令和3年度)	P144		執行実績報告書P(令和2年度)			P80 5	

事業の成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	セカンドステージセミナー及び生きがい講座参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,150	R7	目標	1,150	1,150	1,150	1,150
				実績	1,058	1,118	1,099	926
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150
	実績	215						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者は、高齢者の交流や外出機会の創出につながった数値となるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	活動指標事業の参加者満足度				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
90		R7	目標	90	90	90	90	
			実績	87.1	89.9	88.7	91.7	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		90	90	90	90	90	90	
実績	79.1							
指標の選定理由及び目標値の理由								
セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者アンケートによる満足度を図ることにより、当該事業が高齢者の生きがいや社会参加の一助に資するかが測れるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	セミナーや講座については、目標人数には及ばないものの、多くの人に参加しており、リピーターだけでなく、新たな元気高齢者を呼び込んでいる。今後も講座内容を多様なものにするなど工夫を重ねる。新型コロナウイルスの影響により実績が低下しているが、今後、感染拡大防止に配慮し実施する。

課題・問題点
セミナーや講座に参加している高齢者自身の社会参加、生きがい創出につながっている事業ではあるが、人材バンクの登録者は伸び悩んでいる。ボランティア活動をしたい高齢者を如何に地域活動へつなげていくかが課題である。また、高齢者向けに情報を配信しているメールマガジン登録者も横ばいである。

令和3年度 事務事業評価シート

施 策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事 業 名	にこにこ入浴デー事業費		5
目 的	区内に住む高齢者が、決められた日に無料または半額で入浴することにより、健康増進と、地域の住民や世代間の交流を図ることを目的とした事業である。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課・支援係 03-5608-6168
対 象 者	65歳以上の高齢者		
根 拠 法 令 関 連 計 画	・ 墨田区高齢者にこにこ入浴デー事業実施要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画 第8期介護保険事業計画		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤2、委託先：東京都公衆浴場業生活衛生同業組合墨田支部
事 業 内 容	区内の公衆浴場を高齢者に無料または半額で開放する。 ・ 毎週木・金曜日のいずれか1日は無料 ・ 特定日（こどもの日、敬老の日、冬至の日）は、入浴証受給者並びにともに来場した家族はそれぞれの金額の半額 開店前の公衆浴場でイベントを実施し、高齢者とそれ以外の世代の交流を図る。		
経 過	開始年度	昭和50年度	終了予定
	[昭和50年度] 事業開始 [平成6年度] こどもの日（菖蒲湯）・敬老の日・冬至の日（ゆず湯）を特定日とする。 [平成14年度] 開店前浴場解放事業の実施（湯処・語らい亭） [平成18年度] 毎月25日をすみだ家庭の日として特定日に追加。 [平成29年度] 無料入浴デーを毎週金曜日から毎週木・金曜日のいずれか1日に変更。すみだ家庭の日の特定日を廃止。		
議 会 質 問 の 状 況	[平成28年1定、4定、29年1定] にこにこ入浴実施日の拡大について [平成30年決算特別委員会] 公衆浴場の支援について [平成31年1定] 施策の有効性について [令和2年決算特別委員会] コロナ禍での感染防止対策等について		
そ の 他 特 記 事 項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和2年時点 18/23区で実施。18区で高齢者を対象とした入浴券等配布事業を実施しているが、対象や費用負担の有無など事業内容は各区で異なる。		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		94,119	88,598	90,444	86,829	79,608	88,682
A.決算額（令和3年度は見込み）		91,306	83,812	88,112	79,948	73,118	88,682
財 源	国						
	都	923	724	1,520	695	2,032	1,308
	その他						
一般財源		90,383	83,088	86,592	79,253	71,086	87,374
執行率（％）		97.0%	94.6%	97.4%	92.1%	91.8%	100.0%
B.人コスト				3,937	3,495	3,529	
総事業決算額（A+B）		91,306	83,812	92,049	83,443	76,647	
主な事業費用の説明		入浴証交付事務委託 にこにこ入浴デー実施委託（木・金曜日のいずれか1日、特定日の半額） 「湯処・語らい亭」事業費 浴場開放委託					
予算書P（令和3年度）	P144 6	執行実績報告書P（令和2年度）			P80 6		

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	にここ入浴実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,926	令和7年度	目標	1,400	1,800	1,951	2,000
				実績	1,407	1,811	1,957	1,859
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	2,000	1,926	1,926	1,926	1,926	1,926	
	実績	1,482						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者のふれあいの機会創出につながるため。なお、平成29年度は年度途中で浴場数に変動があり、平成30年度は年度途中で休業した浴場があった。また、令和2年度は年度途中で廃業した浴場があったため目標値の修正を行っている。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	にここ入浴利用者延べ人数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
286,200		令和7年度	目標	290,000	293,000	294,000	294,000	
			実績	293,654	288,275	288,667	278,041	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	294,000	286,200	286,200	286,200	286,200	286,200		
実績	195,454							
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者が1人でも増えれば、高齢者の閉じこもり防止、ふれあい交流につながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	入浴証引換券発送数が約6万人強、無料入浴券引換人数が約1万人弱、無料入浴の年間延利用者数は例年約29万人前後(令和元年度、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり実績減)となっている。以上のとおり、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で実績が減少しているが、本事業は多くの高齢者の閉じこもり防止、ふれあいにつながっていることから、感染防止などの対策等を行いながら、今後も事業を見直しつつ引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
高齢者人口は増加傾向にある一方で、経営者の高齢化や燃料費の高騰などにより、公衆浴場は減少傾向にある。令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の休止期間もあり、実績が減少している。感染防止などの安全対策を行いながら、今後も事業を継続していく。

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	いきいきプラザの管理運営費		6
目的	高齢者の健康増進及び生きがい創出並びに交流の促進を図るための事業を実施するとともに、活動の場を提供することにより、高齢者の福祉の増進を図る。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課相談係 03-5608-6171
対象者	区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティア 前号の高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体 、 に掲げるもののほか、指定管理者が特に認める者及び団体		
根拠法令 関連計画	・ いきいきプラザ条例、同条例施行規則 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 社会福祉法人 カメリア会
事業内容	健康増進、生きがい創出等に関する事。 交流の促進に関する事。 情報の収集及び提供並びに相談に関する事。 いきいきプラザの利用に関する事。 ～ に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業		
経過	開始年度	平成16年	終了予定
	平成16年12月開設。 開設当時から指定管理者制度（1期：5年）が導入されており、指定管理者は、開設当時から3期目（平成30年3月31日）までNPO法人ワーカーズコープ、第4期（平成30年4月1日から令和5年3月31日まで）から社会福祉法人カメリア会となっている。		
議会質問 の状況	[平成29年第4回定例会] 指定管理者の変更に伴う、今後の職員体制や施設運営について [平成30年第2回定例会] 指定管理者の変更について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		74,886	75,500	45,876	49,219	51,212	46,974
A.決算額（令和3年度は見込み）		74,886	75,491	45,869	47,481	47,603	46,974
財源	国						
	都	31,077	31,077	22,106	22,328	26,666	17,801
	その他						
一般財源		43,809	44,414	23,763	25,153	20,937	29,173
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	96.5%	93.0%	100.0%
B.人コスト				3,552	1,748	1,764	
総事業決算額（A+B）		74,886	75,491	49,421	49,229	49,367	
主な事業費用の説明		(1)指定管理に係る委託料 (2)機器賃借料 (3)施設維持補修費 (4)備品破損対応費					
予算書P（令和3年度）	P145-15	執行実績報告書P（令和2年度）			P81 15		

事業 成 果	手 段 に 対 す る 指 標 (活動指標)	指 標	モニタリング実施率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
	実績	100						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	適切に施設が管理運営されていることを定期的に確認する必要があるため。							
	目 的 に 対 す る 指 標 (成果指標)	指 標	年間延べ利用者人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
70,000		H32	目標	60,000	65,000	65,000	65,000	
			実績	65,700	65,948	57,668	49,502	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
実績	23,034							
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。目標値は、基準年の実績値から利用者数が徐々に増加するよう設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、施設閉館や利用自粛等による利用者の大幅な減少があったが、今後も感染防止対策を行ったうえ事業を継続していく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することに伴い、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。 今後も利用者のニーズに適切に対応した事業を実施していけるような体制を整える必要がある。

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	高齢者福祉センター運営経費		7
目的	高齢者に対して健康の増進と教養の向上のため各種サービスを提供することにより、高齢者の福祉の充実を図る。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課相談係 03-5608-6171
対象者	区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティアの高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体 指定管理者が特に認める者及び団体		
根拠法令 関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区高齢者福祉保健センター条例、同施行規則 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画 		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 経過欄のとおり
事業内容	指定管理者が主催する体操や卓球などの健康の保持と増進に関する教室及び囲碁・将棋教室等の教養講座の実施や、自主サークルの活動を行う場所の提供を行うことで、高齢者の福祉の充実を図る。		
経過	開始年度	平成6年	終了予定
	立花ゆうゆう館 平成6年開設、平成18年度から指定管理者制度を導入した。 指定管理者は、第1期(平成18年4月1日から平成21年3月31日まで)墨田区社会福祉事業団、 第2期から第4期(平成21年4月1日から令和4年3月31日まで)はNPO法人てーねん・どすこい倶楽部である。 梅若ゆうゆう館 平成12年4月に開設。平成18年度から指定管理者制度を導入した。 平成18年度から、指定管理者は墨田区社会福祉事業団であり、現在4期目である(令和8年3月31日まで)。		
議会質問 の状況	[平成28年2定] 元気高齢者施設の増設について [平成29年予算特別委員会] 稼働率について [平成30年予算特別委員会] 医療連携、自主事業について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		73,637	107,354	76,727	89,221	80,257	75,199
A.決算額(令和3年度は見込み)		71,820	94,774	74,363	81,582	78,691	75,199
財源	国						
	都				8,577	24,393	25,484
	その他						
一般財源		71,820	94,774	74,363	73,005	54,298	49,715
執行率(%)		97.5%	88.3%	96.9%	91.4%	98.0%	100.0%
B.人コスト				3,552	3,495	3,529	
総事業決算額(A+B)		71,820	94,774	77,915	85,077	82,220	
主な事業費用の説明		(1)指定管理に係る委託料 (2)機器等賃借料 (3)施設維持補修費					
予算書P(令和3年度)	P145-14	執行実績報告書P(令和2年度)			P81 14		

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	モニタリング実施率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		100	100	目 標	100	100	100	100
				実 績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	100	100	100	100	100	100
	実 績	100						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区の指定管理施設として、適切に施設が管理運営されていることを定期的に確認する必要があるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	年間延べ利用者人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
103,000		R7	目 標	101,400	100,000	101,000	102,000	
			実 績	99,133	102,099	104,778	93,324	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	
実 績	26,067							
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。目標値は、基準年の実績値から利用者が徐々に増加し、その後安定的に利用されている数値を設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、施設閉館や利用自粛等による利用者の大幅な減少があったが、今後も感染防止対策を行ったうえ事業を継続していく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することに伴い、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。 今後も利用者のニーズに適切に対応した事業を実施していけるような体制を整える必要がある。

令和3年度 事務事業評価シート

施 策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事 業 名	ふれあい給食事業助成		8
目 的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、その経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。 なお、ふれあい給食事業は、高齢者の孤独感解消や地域社会との交流、生きがいの創出を促す事業である。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課支援係 03-5608-6168
対 象 者	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園		
根 拠 法 令 関 連 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画 		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営
			人員体制・委託先
			常勤1
事 業 内 容	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、その経費の一部を助成する。助成の内訳は次のとおり。 【ふれあい給食実施】 食材料費200円/食、事務費3,500円/回 【生きがい教室】 運営費8,000円/回		
経 過	開始年度	平成2年度	終了予定
	[平成2年度] 事業開始 [平成14年度] ふれあい給食事務費の一部(各園年間60千円)を廃止		
議 会 質 問 の 状 況			
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 保育園児との交流事業としては墨田区のみ実施。サロン等で高齢者のみの会食事業は14区で実施。		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		2,807	2,893	2,747	2,837	100	1,710
決算額（令和2年度は見込み）		2,601	2,299	2,292	1,710	13	1,710
財 源	国						
	都	1,403	1,384	1,300	1,316	7	854
	その他						
一般財源		1,198	915	992	394	6	856
執行率（％）		92.7%	79.5%	83.4%	60.3%	13.0%	100.0%
B.人コスト				984	874	882	
総事業決算額（A+B）		2,601	2,299	3,276	2,584	895	
主な事業費用の説明		・ ふれあい給食実施園への助成金					
予算書P（令和3年度）	P144	執行実績報告書P（令和2年度）			P81 13		

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		233	R7	目 標	182	175	184	195
				実 績	176	169	187	158
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	183	5	100	200	223	233
	実 績	1						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため、1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	参加延べ人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
3,961		R7	目 標	3,964	3,829	3,886	3,944	
			実 績	3,643	3,514	3,508	2,745	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		3,779	85	170	3,400	3,790	3,961	
実 績	5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した実際の高齢者数を表しているため、各園のふれあい給食定員数の合計を最終目標値として設定する。1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から事業を休止しているが、今後の感染状況を注視しながら再開時期を検討していく。</p>

課題・問題点
<p>実施園が少ないため拡大していく必要がある。</p>

令和3年度 補助金評価シート

補助金名称	ふれあい給食事業助成	主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱	高齢者福祉課支援係	
補助概要	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、経費の一部を助成している。	03-5608-6168	
目的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対しその経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。		
対象	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園		
基準	区独自基準		
補助条件	助成を希望する私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園は、年度当初に助成金交付申請書と事業計画書を区長に提出し、事業年度終了後30日以内に、実績報告書と請求書を提出する。		
経過	開始年度	平成2年度	終了予定
	[平成2年度] 事業開始 [平成14年度] ふれあい給食事務費の一部（各園年間60千円）を廃止		
議会質問の状況			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 保育園児との交流事業としては墨田区のみ実施。サロン等で高齢者のみの会食事業は14区で実施。		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		2,807	2,893	2,747	2,837	2,600	1,710
決算額（令和3年度は見込み）		2,601	2,299	2,292	1,710	13	1,710
財源	国						
	都	1,403	1,384	1,300	1,316	7	854
	その他						
一般財源		1,198	915	992	394	6	856
執行率（％）		92.7%	79.5%	83.4%	60.3%	0.5%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		233	R7	目標	182	175	184	195
				実績	176	169	187	158
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	183	5	100	200	223	233
		実績	1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため、1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	参加延べ人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3,961	R7	目標	3,964	3,829	3,886	3,944
				実績	3,643	3,514	3,508	2,745
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		3,779	85	170	3,400	3,790	3,961	
実績		5						
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した実際の高齢者数を表しているため、各園のふれあい給食定員数の合計を最終目標値として設定する。1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		<p>本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から事業を休止しているが、今後の感染状況を注視しながら再開時期を検討していく。</p>						

課題・問題点	
<p>実施園が少ないため拡大していく必要がある。</p>	

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	長寿者に対する祝金の贈呈事業費		9
目的	区内に居住している最高齢者並びに百歳、米寿及び喜寿の高齢者に対し長寿者祝金を贈呈し長寿を祝福することにより、生きがいを創出する。また、直接訪問し安否確認することにより福祉の増進を図る。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課支援係 03-5608-6168
対象者	最高齢者(男女1名ずつ)、満百歳、米寿(数え88歳)、喜寿(数え77歳)		
根拠法令 関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区長寿者祝金贈呈事業実施要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画第8期介護保険事業計画 		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤2・民生委員
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高齢者(男女1名ずつ) 贈呈内容:50,000円及び最高齢認定証、花束の贈呈 ・ 百歳(満) 贈呈内容:25,000円及び賀寿状の贈呈 ・ 米寿(数え88歳) 贈呈内容:10,000円 ・ 喜寿(数え77歳) 贈呈内容:5,000円 		
経過	開始年度	昭和33年度	終了予定
	[昭和33年度] 敬老金開始		
議会質問 の状況	[平成27年決算特別委員会] 現金ではなく、祝い品を贈呈することについて [平成29年予算特別委員会] 喜寿の祝い金額の増額について [令和3年予算特別委員会] 事業見直しの検討について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・R2年時点 23/23区で実施 ・R2年時点 実施内容(重複あり) 祝金 10区 商品券 13区 その他 11区		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		25,892	26,836	29,492	28,068	27,143	26,810
A.決算額(令和3年度は見込み)		25,490	26,264	27,149	27,352	26,693	26,810
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		25,490	26,264	27,149	27,352	26,693	26,810
執行率(%)		98.4%	97.9%	92.1%	97.4%	98.3%	100.0%
B.人コスト				3,937	3,495	3,529	
総事業決算額(A+B)		25,490	26,264	31,086	30,847	30,222	
主な事業費用の説明		・ 祝金(最高齢祝、百歳祝、米寿祝、喜寿祝)					
予算書P(令和3年度)		P143		執行実績報告書P(令和2年度)		P79 3	

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	チラシ発行部数				単 位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		25,600	R 7	目 標	26,400	26,400	26,400	26,400
				実 績	26,400	26,100	26,600	26,600
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	26,600	25,600	25,600	25,600	25,600	25,600
	実 績	25,600						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	贈呈の趣旨や方法をあらかじめ周知することにより、効率よく祝金を配布できるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	贈呈者数(最高齢者・百歳・米寿・喜寿)				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
4,365		R 7	目 標	3,808	4,040	4,054	4,022	
			実 績	3,780	3,936	3,988	3,945	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		3,482	3,425	3,443	4,406	4,395	4,365	
実 績	3,823							
指標の選定理由及び目標値の理由								
祝金の贈呈が高齢者の生きがい、励みとなるため。 なお、目標数は現時点での対象者数であるため、死亡、転出等により変動する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	長寿者祝金は区民からのニーズが高く、高齢者の長寿を目指すきっかけになっているが、近年平均寿命も延びており、今後は事業を見直しつつ引き続き継続して実施していく。

課題・問題点

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	すこやか長寿夫婦表彰経費		10
目的	長年人生を共に過ごし、金婚を迎えた夫婦の長寿をたたえ、表彰することにより高齢者の模範や励みとする。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課・支援係 03-5608-6168
対象者	継続して50年以上婚姻関係にあり、共に生活している夫婦		
根拠法令 関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区すこやか長寿夫婦表彰事業実施要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画 		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 <small>常勤2、委託先：一般社団法人 墨田区観光協会</small>
事業内容	継続して50年以上婚姻関係にあり、共に生活している夫婦に対し、記念品を授与する。		
経過	開始年度	平成18年度	終了予定
	[平成18年度] 事業開始 [平成30年度] 記念品を変更(クリスタル製の盾からすみだの銘品へ)		
議会質問 の状況	[平成29年予算特別委員会] 周知方法について [平成30年決算特別委員会] 贈呈方法について、事実婚の対応について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・ H30時点 2/23区で実施 ・ 豊島区で金婚祝いの事業を実施している。贈呈品は商品券(10,000円相当)。		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		716	1,145	1,181	658	894	544
決算額(令和2年度は見込み)		668	1,094	1,076	494	634	544
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		668	1,094	1,076	494	634	544
執行率(%)		93.3%	95.5%	91.1%	75.1%	70.9%	100.0%
B.人コスト				2,953	1,748	2,647	
総事業決算額(A+B)		668	1,094	4,029	2,242	3,281	
主な事業費用の説明		・ すこやか長寿夫婦表彰実施委託					
予算書P(令和3年度)	143	執行実績報告書P(令和2年度)			P80 4		

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	チラシ配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		26,400	令和7年度	目標	80	26,400	26,400	26,400
				実績	100	23,987	23,843	23,856
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400
	実績	22,166						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	事業内容を広く周知することで高齢者の励みの機会創出につながるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	表彰件数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
340		令和7年度	目標	130	130	150	130	
			実績	130	213	338	143	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		130	190	235	280	325	340	
実績	182							
指標の選定理由及び目標値の理由								
金婚を表彰することが高齢者の励みにつながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	高齢者の励みとなる表彰制度であり、区民から喜びの言葉も多い。一方、23区では当区を含め2区のみの実施であり、他自治体の状況等も踏まえ、事業の必要性について検討を行う。

課題・問題点

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	長寿マッサージ事業費		11
目的	区内在住の高齢者に対して、マッサージの施術を行うことにより、高齢者の健康増進に寄与するとともに、閉じこもりの防止につながる。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課・支援係 03-5608-6168
対象者	マッサージの施術を受けることができる高齢者		
根拠法令 関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単年度決裁 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画 第8期介護保険事業計画 		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事業内容	<p>区内10か所(12床)の高齢者施設等で利用登録をしている高齢者に対し、マッサージを施術する。 施術については、墨田区視覚障害者福祉協会の協力のもと有償ボランティアとして実施し、障害者の社会貢献の一端を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回数:月2回 ・ 利用人数:1回4人 ・ 場所 みどりコミュニティセンター、横川三丁目集会所、京島会館、いきいきプラザ、社会福祉会館、八広地域プラザ、すみだ福祉保健センター、立花ゆうゆう館、梅若ゆうゆう館、杉山鍼灸治療所。 		
経過	開始年度	昭和53年度	終了予定
	[昭和53年度] 事業開始		
議会質問の状況			
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・ R1年時点 18/23区で実施 ・ 18区で高齢者を対象としたマッサージ事業を実施しているが、対象年齢や費用負担の有無など事業内容は各区で異なる。(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・ R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を一定期間中止した。		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		5,228	4,948	4,963	4,245	2,891	4,373
A.決算額(令和3年度は見込み)		4,956	4,918	4,761	3,745	1,515	4,373
財源	国		873	873	873	873	873
	都						
	その他						
一般財源		4,956	4,045	3,888	2,872	642	3,500
執行率(%)		94.8%	99.4%	95.9%	88.2%	52.4%	100.0%
B.人コスト				1,969	1,748	1,764	
総事業決算額(A+B)		4,956	4,918	6,730	5,493	3,279	
主な事業費用の説明		・ マッサ - ジ施術者に対する謝礼金					
予算書P(令和3年度)	P144	執行実績報告書P(令和2年度)			P80 9		

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		370	令和7年度	目標	456	445	445	370
				実績	456	454	440	344
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	384	384	384	384	384	384
	実績	121						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者の健康増進や外出機会の創出につながる。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	利用者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
1,536		令和7年度	目標	1,824	1,780	1,780	1,480	
			実績	1,799	1,795	1,736	1,356	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		1,536	1,536	1,536	1,536	1,536	1,536	
実績	443							
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者数は、本事業が健康増進や閉じこもり防止に寄与した高齢者数を示しているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	マッサージ施術により、高齢者の健康増進に寄与するとともに外出機会の創出につながっている。また、施術は墨田区視覚障害者福祉協会に依頼しており、障害者の社会貢献の一端を担う事業ともなっている。令和2年度は、施設閉館や利用自粛等、新型コロナウイルス感染症の影響により回数・利用者が大幅に減少しているが、今後の感染状況の推移を見極めながら、感染防止などの安全対策を行い、事業を継続していく。

課題・問題点

令和3年度 補助金評価シート

補助金名称	長寿マッサージ事業に係る団体損害保険	主管課・係（担当）		
根拠法令	2墨福高第1084号	高齢者福祉課・支援係		
補助概要	長寿マッサージ事業の施術において、施術者が区民に損害を与えた場合に速やかに保障するため、各施術者が団体損害保険に加入している。	03-5608-6168		
目的	施術者が団体損害保険に加入することにより、区民が安心・安全に施術を受けることができる。			
対象	長寿マッサージ施術者			
基準	区独自基準			
補助条件	本事業のマッサージ施術に起因する事故等に対応できる保険であること。			
経過	開始年度	平成25年度	終了予定	
	<p>長寿マッサージ事業利用登録者の高齢化等に伴い、施術時に負傷などの事故が発生する危険性が高まってきた。そこで、施術を依頼している墨田区視覚障害者協会で、本業務の内容に特化した補償内容を有する団体損害保険に加入し、その経費に関して実費弁償としての補助金申請があった。この保険に加入することが事業の安全な運営に資するものであり、補助することが妥当であると認めため、交付決定に至った。</p> <p>なお、当該保険は加入が原則施術者個人単位となっているため、区が加入者になることができないものである。</p>			
議会質問の状況				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)			

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		66	50	43	41	41	41
決算額（令和3年度は見込み）		46	43	40	33	30	41
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		46	43	40	33	30	41
執行率（％）		69.7%	86.0%	93.0%	80.5%	73.2%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		370	令和7年度	目標	456	445	445	370
				実績	456	454	440	344
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	384	384	384	384	384	384
		実績	121					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者の健康増進や外出機会の創出につながる。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	保険適用件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		0	令和7年度	目標	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	0	0	0	0	0	0
実績		0						
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民が安全に施術を受けられることが理想のため、目標値は0件に設定した。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		区民が安全に施術を受けられるよう、今後も引き続き継続して保険に加入する。						

課題・問題点	

令和3年度 事務事業評価シート

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	姉妹区提携交流ゲートボール大会経費		12
目的	ゲートボールを通して、墨田区・台東区両区の親善交流と健康増進を図り、高齢者の生活を生きがいのある、明るく、豊かなものとする。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課支援係 03-5608-6168
対象者	墨田区、台東区に居住する概ね60歳以上の者で編成されたチーム		
根拠法令 関連計画	単年度決裁		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1、委託先:株式会社フォーライト
事業内容	毎年度1回、墨田区と台東区の高齢者が、ゲートボールの親善交流試合を行う。		
経過	開始年度	昭和57年	終了予定
	[昭和52年] 台東区と姉妹区提携 [昭和57年] 第一回姉妹区ゲートボール大会開催		
議会質問 の状況			
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度: [コロナウイルス感染拡大防止により、中止] 令和3年度: [コロナウイルス感染拡大防止により、中止]		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		247	448	383	484	7	264
A.決算額（令和3年度は見込み）		220	422	268	422	5	5
財源	国						
	都				83		
	その他		155		169		
一般財源		220	267	268	170	5	5
執行率（％）		89.1%	94.2%	70.0%	87.2%	71.4%	1.9%
B.人コスト				984	888	1,764	
総事業決算額（A+B）		220	422	1,252	1,310	1,769	
主な事業費用の説明		幹事を台東区と交互に行う。 幹事時は看護師謝礼金、食糧費等、保険料、会場設営・撤去委託料、会場使用料 幹事ではない場合、大会経費分担金、食糧費					
予算書P（令和3年度）	P144	執行実績報告書P（令和2年度）		P80 8			

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	大会の実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	R 7	目 標	1	1	1	1
				実 績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	1	1	1	1	1	1
	実 績	0	0					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	年に1回以上、安定的に事業を実施する必要があるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	出場者の数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
100		R 7	目 標	140	140	140	140	
			実 績	140	140	132	113	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		110	110	110	110	110	100	
実 績	0	0						
指標の選定理由及び目標値の理由								
出場者数の増加が、高齢者の健康増進、生きがい創出につながるため。 なお、令和元年度の出場者数が減ったため、令和2年度から目標値140を100に修正した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	本事業は高齢者の健康増進と墨田台東両区の親善交流につながっているが、ゲートボール人口が減少しており、近年は出場者数・出場チームの確保が難しくなっていることから、その他スポーツの導入など幅広く議論、検討していく。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度・3年度は事業を中止している。

課題・問題点
参加者が減少しており、確保及び拡大の方法を台東区とともに検討していく。